

終活

第2回 遺品整理業界に起こるトラブル!?
被災地で起こる「遺品の不法投棄」と
撲滅に向けた「寄付」の取り組み

最近では、多様な業者が遺品 収集運搬許可」が必要となりま 整理を扱うようになりました。

一方で叫ばれているのが「ご 遺族と業者間でのトラブル」で ず。様々報告がされています が、今回は「遺品の不法投棄」 を考えてみましょう。

私たちの言う「遺品整理」 は、「遺品の整理」に他なりま せんが、遺品整理業務を行う 際、どうしても「遺品の処分」 「家財道具の廃棄」などが付い て回ります。

業者が増える中で価格競争が 起こり、業務の価格を落とすた めに行われるようになったのが 「不法投棄」と言えるでしょう。

遺品整理で、不要物となった ものは、「一般廃棄物」に該当 し、これらを車両に積み込み、 運搬するためには「一般廃棄物

この許認可は、一般に「家庭 ごみの回収に必要な許可」とし て知られており、許認可を受け られる企業も数に限りがあるた め、自分たちだけでは運ぶこと が出来ない状況下から不法投棄 に至っているのです。

東北・被災地での現状

遺品の不法投棄は、東日本大 震災の被災地でも起こって お り、地方になればなるほど、不 法投棄されている量も多くなっ ています。

最大限、ご遺族の要望に応え るために行った結果と言え ば聞 こえは良いかもしれませんが、 亡くなった方の遺品が野ざらし で廃棄されるなどは、遺憾な行

為だと皆さんが思うはずず。

私たちは、そうした状況が少 しでも改善されればと、「東北 被災地不法投棄撲滅ひまわり基 金」を創設し、昨年12月末、少 額ではありますが、不法投棄が 多く報告されている石巻市へ10 万円の寄付もさせて頂きました。

遺品に限らず、やむなく処分 する大切な品もあるはずず。 心無い対応をされることのない よう、心から願います。

遺品の不法投棄を防ぐために

廃棄物の処分の際には市町村 で決められた処分料金が掛かり ます。別紙になる場合もありま



石巻市から感謝の手紙が届いた

すが、これらを加味した見積書 の作成、処分料に見合った金額 の請求が無い場合には、不法投 棄を疑ってみるのも、抑止力に なるのではないのでしょうか。

すべての業者がそうだという ことではありませんが、「廃棄 物処理」について、①説明が曖 昧 ②対応の流れが見えない ③極端に価格が安価の3点が不 法投棄を行う業者によく見受け られます。依頼される際には、 注意しておくとも良いかもしれま せん。

きむら えいじ
木村 榮治

(一社)遺品整理士認定協会 理事長、(一社)事件現場特 殊清掃センター理事長。遺品整理士の資格 認定の他、「事件現場特殊清掃士」資格を創設 するなど、遺品整理に係る社会問題に対して 使命を持って立ち向かい、現在の活動に至る。

問合せ先：0123-42-0528